

農業工学専修実験 (2 単位)

担当者氏名 全専攻教員

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

修士論文を作成するためには、室内実験、現場実験等を実施し、要求される精度の下でデータを取得するとともに、取得データを適切に処理しなければならない。本科目では、必要に応じて実施される専修毎の実験の計画、実施、解析を通して、論理的思考能力、コミュニケーション能力を獲得することを、学習・教育による到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用工学	農村環境工学	広域環境情報学	地水環境工学
社会基盤工学	水利施設工学	バイオロボティクス	農産加工流通工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	既往文献による実験方法の抽出(第1～第3週)	研究テーマに即したキーワードによる文献検索および文献通読による実験方法の確認	学部での授業や卒業論文作成のために実施した実験で体得した実験計画法、実験手法、データ解析法について、授業内容に応じて予習すること。
2	既往文献による実験データ処理方法の抽出(第4～第6週)	文献通読によるデータ処理方法の確認および文献データを用いた処理方法の確認	
3	実験手順の確認および実験計画の立案(第7～第8週)	テキストおよび参考書による実験手順の確認および試料採取を視野に入れた実験計画の立案	
4	予備実験による取得データの確認(第9週)	テキストおよび参考書を確認しながらの予備実験の実施および実施上の問題点の抽出	
5	実験計画に基づく実験の実施(第10～第13週)	第7～第8週で立案した実験計画に基づく実験の実施および実施上の問題点の抽出	
6	実験データの解析(第14～第15週)	第4～第6週で抽出したデータ処理方法に基づく実験データの解析およびエラーの検討	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートにより評価する。

◆オフィスアワー

授業終了後1時間、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

本科目は、定期的に関講するよりも集中的に行うことで学習効果が向上するものであるため、履修にあたっては指導教員と十分に相談し、授業計画を決定すること。